

「避難所体験」で 防災を身近に



翼小では、2012年度から総合的な学習の時間の中で「マイ防災袋」を作成したり、学区の夏祭りでの収益金を防災グッズの購入にあてたりと、防災活動に積極的に取り組んでいる。東日本大震災の影響を踏まえ、南海トラフ巨大地震に備えた意識をもっているからだ。その中でも、最も実践的な活動になるのが、「避難所体験」。PTAと学校が協力し、夏休みを利用して日常とは違った視点で活動を行っている。



実際に三角巾を使いながら、子どもたちに応急処置の仕方を伝える。

みんなで協力して食事の準備。慣れない手つきも優しく見守る。



自分の寝床は、自分で確保。日常のありがたみに気づくのも体験の特徴。

地震がきても倒れないように、しっかり補強。



3回目となる昨年度は、子どもたちが自身が活動内容を決定。体育館での宿泊体験や食事提供、学校内の耐震補強など、子どもが主体的に活動する姿を見守った。

PTAは、子どもたちをサポートするため、事前の段取りに力を入れる。避難所スペースを作るために使う段ボールの確保、非常食の準備などだ。また、けがをした際の手当ての仕方や、災害時に身近なものがどのように役に立つかを子どもたちに伝えた。

「三角巾はこうやって巻くんだよ。」

「シーツでも三角巾の代わりになるね。」

こうした成果が認められ、兵庫県などが主催する「ほうさい甲子園」で、翼小は優秀賞を獲得することができたそうだ。

今後も翼小PTAは、防災活動に取り組んでいく。子どもたちの安全な未来を支える、大きな力になるはずだ。

2015.09
探検

DATA 所在地●高浜市神明町5の1の1 児童数●733人 周辺環境●校区の東側には田園が広がる。一方、西側には大型スーパーや、家族連れに人気の公園などがあり、活気にあふれている。毎年、児童の数が増え、教室が足りなくなっていくつある。